

公益財団法人放射線影響研究所

第 14 回評議員会

概要報告

公益財団法人放射線影響研究所 第 14 回評議員会が、2024 年 6 月 19 日と 20 日の両日、長崎研究所において開催された。

主な議題と討議結果は次のとおり。

1. 事業報告、決算

2023 年度の事業実行状況について、事業報告（国際協力活動、海外との共同事業等を含む）、決算報告、監査報告および付属書類により報告され、異議なく承認された。

2. 事業計画、予算および関連事項

被爆者の健康に関する調査研究事業、被爆者の子どもの健康に関する調査研究事業、原子爆弾の個人別線量とその影響を明らかにするための調査研究事業、研究成果の公表と他機関との研究協力事業、国内外の専門家を対象とする研修事業、一般向け啓発事業などの 2024 年度事業計画およびこれらを実施するための予算について報告された。

3. 放影研戦略計画および移転計画

放影研に課せられたミッションを達成するための戦略計画については、バイオサンプル研究センター（BRC）と研究資源センター（RRC）の整備状況、及び被爆者とその子供の全ゲノム配列を解析するトリオ研究（トリオ研究）の準備状況について議論が行われた。移転計画では、広島大学霞キャンパスへの移転計画の進捗を説明し、それに対する討議が行われた。広島研究所の移転については、移転計画の遅れについて報告があった。

4. 科学諮問委員会の勧告および勧告への対応

2024 年 3 月 12－14 日の 3 日間、第 51 回科学諮問委員会が 5 年ぶりに対面形式で開催された。今年は分子生物科学部と研究資源センター（RRC）に焦点をあてて審査が行われた。科学諮問委員会からは、トリオ研究の準備状況及び若手研究員のための研究機会の拡充など、放影研における重要な改善が評価された。一方、バイオサンプルのインベントリ整備や放影研の組織的課題への対応、戦略計画の実施について勧告が行われ、それらについて、研究インフラの整備や戦略計画の評価及び推進などの放影研の対応が討議された。

5. 評議員、科学諮問委員および監事の選任

今評議員会の終結時に任期満了となる、監事、評議員および科学諮問委員の後任者の選任が行われた。任期はいずれも別紙の（ ）内に示された年の定時評議員会の終結までとなる。

監 事 の 選 任
Appointment of Auditor

任期は()年に開催される定時評議員会の終結の時まで
The term of office will be until the conclusion of the BOC meeting (regular)
held in () year.

河 野 隆 Mr. Takashi Kohno (2028)
Mr. Paul Preziotti (2028)

評議員の選任 Appointment of Councilors

任期は()年に開催される定時評議員会の終結の時まで

The term of office will be until the conclusion of the BOC meeting (regular) held in () year.

佐 野 利 男(2029) 前原子力委員会委員・元軍縮会議日本政府代表部大使 Mr. Toshio Sano (2029) Former Commissioner of Japan Atomic Energy Commission and Former Ambassador, Permanent Representative of Japan to the Conference on Disarmament	Dr. Angela Bies (2029) 米国メリーランド大学公共政策学部 世界的慈善および非営利事業リーダーシップ寄付講座 准教授 Endowed Associate Professor of Global Philanthropy and Nonprofit Leadership, School of Public Policy, University of Maryland
早 野 龍 五(2025) 東京大学名誉教授 Dr. Ryugo Hayano (2025) Emeritus Professor, The University of Tokyo	Dr. Jonathan M. Samet (2025) 米国コロラド大学公衆衛生学部 学部長 Dean, School of Public Health, University of Colorado
米 倉 義 晴(2026) 大阪大学放射線科学基盤機構 招へい教授 Dr. Yoshiharu Yonekura (2026) Guest Professor, Institute for Radiation Sciences, Osaka University	Dr. Joe W. Gray (2026) 米国オレゴン健康科学大学およびカリフォルニア大学サンフランシスコ校 名誉教授 Professor Emeritus, Oregon Health and Science University and the University of California, San Francisco
小 林 正 夫(2027) 日本赤十字社中四国ブロック血液センター 相談役 Dr. Masao Kobayashi (2027) Consultant, Japanese Red Cross Chugoku-Shikoku Block Blood Center	Dr. Keith R. Yamamoto (2027) 米国カリフォルニア大学サンフランシスコ校 教授、科学政策・戦略担当副総長、 精密医療担当部長 Professor, Vice Chancellor for Science Policy and Strategy, Director UCSF Precision Medicine

科学諮問委員の選任

Appointment of Scientific Advisors

任期は()年に開催される定時評議員会の終結の時まで

The term of office will be until the conclusion of the BOC meeting (regular) held in () year.

松田 文彦 (2029) 京都大学大学院医学研究科附属ゲノム医学センター長 Dr. Fumihiko Matsuda (2029) Director, Center for Genomic Medicine, Kyoto University Graduate School of Medicine	Dr. Melissa Haendel (2029) ノースカロライナ大学チャペルヒル校精密医療トランスレーショナルインフォマティクス学部長 Director of Precision Health & Translational Informatics, University of North Carolina
永田 知里 (2025) 岐阜大学大学院医学系研究科疫学・予防医学分野 教授 Dr. Chisato Nagata (2025) Professor, Department of Epidemiology and Preventive Medicine, Gifu University Graduate School of Medicine	Dr. Jonine Bernstein (2025) 米国スローン・ケタリング記念がんセンター生存・転帰・リスクプログラム担当疫学者兼共同リーダー Attending Epidemiologist, Co-Program Leader Survivorship, Outcomes and Risk Program, Memorial Sloan Kettering Cancer Center
鈴木 元 (2026) 医療法人保内郷厚生会保内郷メディカルクリニック医師 Dr. Gen Suzuki (2026) Medical Doctor, Honaigo Medical Clinic, Honaigo Koseikai Medical Corporation	Dr. Nilanjan Chatterjee (2026) 米国ジョーンズ・ホプキンズ大学医学部ブルームバーグ公衆衛生大学院 腫瘍学部生物統計学科 ブルームバーグ 特別教授 Bloomberg Distinguished Professor, Department of Biostatistics, Bloomberg School of Public Health and Department of Oncology, School of Medicine, Johns Hopkins University
島田 義也 (2027) 公益財団法人 環境科学技術研究所 理事長 Dr. Yoshiya Shimada (2027) President, Institute for Environmental Sciences	Dr. Gayle E. Woloschak (2027) 米国ノースウェスタン大学フェインバーグ医学研究科 放射線腫瘍学部 教授 Professor, Departments of Radiation Oncology, Feinberg School of Medicine, Northwestern University
今岡 達彦 (2028) 国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 量子生命・医学部門 放射線医学研究所 放射線影響研究部 修飾要因・幹細胞研究グループ グループリーダー Dr. Tatsuhiko Imaoka (2028) Group Leader, Modifying Factor/Stem Cell Research Group, Department of Radiation Effects Research, National Institute of Radiological Sciences, Quantum Life and Medical Science Directorate, National Institute for Quantum Science and Technology	Dr. Patrick Concannon (2028) 米国フロリダ大学医学部 病理学・免疫学・臨床検査医学科 名誉教授 Professor Emeritus, Department of Pathology, Immunology and Laboratory Medicine, College of Medicine, University of Florida